

授業科目名	【G】 プレゼミⅡ	区分 必修	開講年次	【G】1	単位数	【G】2		
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	大学生としての法学・政治学の学び方			担当者	福島 都茂子			
授業概要	【概要】	<p>法学部の専門科目を学ぶうえで必ず必要な基礎知識や素養を身に付ける。</p> <p>レポートや試験の論述問題の解答等において必要となる論理的な文章の書き方を学ぶ。</p> <p>演習科目における発表の仕方やレジュメの作成方法などを学ぶ。</p> <p>グループディスカッションなどを通じて、学問的なテーマについて、自分の意見を発表し、他の履修生と発展的な議論をする練習をする。</p>						
	【到達目標】	<p>法学部生として専門的に法学や政治学を学ぶために必要な基礎知識や素養を身につける。</p> <p>論理的な文章を書く方法を学ぶ。</p> <p>演習科目等での発表の仕方やレジュメの作成方法を学ぶ。</p> <p>学問的なテーマで議論する方法を学ぶ。</p>						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	特になし							
教科書	特になし。必要に応じて資料を配布する。							
参考書	必要に応じて紹介する。							
評価方法	授業への参加態度(50%)、課題(50%)で評価する。							
フィードバック 方法	原則として授業内で解説を行います。質問や要望等はメールやClassroomのコメントでも随時受け付けます。							
評価基準	授業に積極的に参加し、課題を達成するとともに、学修した内容をよく理解した者はその程度に応じて「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とし、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、欠席の多い場合や課題未提出などの場合は「F」とします。							

授 業 科目名	【G】 プレゼミⅡ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必 修				
授業内容	法学部生として必要な資料や文献の読み方、論理的な文章の書き方、大学での発表の仕方(レジュメや資料作成などの準備も含む)などを学び、実際にやってみる。また、学問的なテーマについて自分の意見を発表し、議論する練習をする。					
予習内容	必要に応じて毎回指示するが、配布資料を予め読んで内容を正確に理解することや発表の準備、課題の作成など、毎回90分程度の予習時間が目安です。					
復習内容	課題の準備や完成、発表準備、授業で学修した内容の復習など、毎回90分程度の復習時間が目安です。					
その他	特になし					